

「さあ、みんなで、考えよう」

コロナ禍の様々な「相談」窓口の紹介

2016年に施行されたいわるゆる「差別解消三法」で「相談」体制づくりとその充実について
の大切さが再確認されています。新型コロナウイルス感染者が増えている中、自分自身の感染や健康
への「不安」、感染した場合の「コロナ差別」とも言うべき不当な扱いや差別的な事象への「不安」、
それらの個人の「不安」に対して家族や近隣住民者として、知り合いやなかまとして、いつでも誰
でも「相談」できる体制と要綱づくりを柘植地域で確立したいと思えます。この意識をしっかりと持
ちながら、今回の通信では公機関としての「相談」窓口を紹介したいと思えます。

◎自分の感染が心配な人へ

～伊賀市ホームページより相談先の案内～

「帰国者・接触者相談センター」では、新型コロナウイルス感染症が疑われる人の相談を受け付
けています。相談内容から同感染症の疑いがあると判断した場合、その人へ適切な診察を行う
「帰国者・接触者外来」への受診調整を行っています。

◎帰国者・接触者相談センター（土・日・祝日も対応）

でんわ 0595-24-8050（午前9時から午後9時まで） ※6月19日午前9時から電話番号が変更
でんわ 059-229-1199（午後9時から翌午前9時まで） 三重県救急医療情報センター対応

◎電話相談窓口（新型コロナウイルス感染症関係）

・伊賀保健所 一般相談窓口（上記掲載の「帰国者・接触者相談センター」）電話 0595-24-8050

・三重県庁 医療保健部 薬務感染症対策課（専用回線）

でんわ 059-224-2339（午前9時から午後9時まで：土・日・祝日も対応）

・厚生労働省（電話相談窓口）

でんわ フリーダイヤル 0120-565653（午前9時から午後9時まで：土・日・祝日も対応）

聴覚に障がいのある人をはじめ、電話での相談が難しい人に向けて、ファックス(03-3595-2756)
でも受付をしています。

○新型コロナウイルス感染症に関連した不当な差別や偏見に対して

新型コロナウイルス感染症に関連して、感染者・濃厚接触者、医療従事者等に対する誤解や偏見に基づく差別は絶対に許されません。新型コロナウイルス感染症に関連する不当な差別、偏見、いじめ等の人権相談窓口を紹介します。困った時は一人で悩まず、相談してください。

※ 雑誌「部落解放」9月号(最新号)に反差別・人権研究所みえの松村元樹さんの「感染症対策に『人権』施策の位置づけを」が特集内の文章として掲載されています。

法務省人権相談窓口

みんなの人権110番 0570-003-110
 子どもの人権110番 0120-007-110
 外国語人権相談ダイヤル 0570-911
 女性の人権ホットライン 0570-070-810

インターネット人権相談



三重県人権センター人権相談

電話相談 (9:00~17:00) 059-233-5500
 面接相談 (9:00~17:00)

9月、10月の講演会や研修会の案内

- 9月11日(金) 青山文化センター人権・解放講座 (19:30~21:00) 青山文化センター
 「自分らしく生きるために～伊賀で実現できた僕らの生活」(加納克典さん・嶋田全宏さん)
- 9月15日(火) ライトピアおおやまだ人権大学 (19:30~) ライトピアおおやまだ
 「人権感覚とは?～差別意識の仕組みから考える」(大寺和男さん)[奈良県人権教育推進協議会]
- 9月25日(金) 2020 部落解放・人権大学講座 (19:30~21:00) ゆめぼりすセンター
 「差別をなくす社会システム」(北口末広さん)[近畿大学人権問題研究所]
- 9月29日(火) いがまち人権・同和問題地区別懇談会リダー研修会 (19:30~21:00) いがまち公民館
 体験学習会「外国人の人権に関する学習会」(和田京子さん)[NPO法人伊賀の伝丸]
- 10月20日(火) ライトピアおおやまだ人権大学 (19:30~) ライトピアおおやまだ
 「ゆがむメディア ゆがむ社会」(北口末広さん)[近畿大学人権問題研究所]
- 10月30日(金) 2020 部落解放・人権大学講座 (19:30~21:00) ゆめぼりすセンター
 「スマホ時代の子どもたちに大人ができること」(石川千明さん)[NPO法人なら地域の学び推進機構]

※ 10月に開催予定だった三重県人権・同和教育研究大会は中止になりました

柘植地域人権啓発合同フィールドワーク(遠方)[水平社博物館と奈良市南人権文化センター]

⇒ 本年度は、現在の状況を踏まえ、中止とさせていただきます。